



# 南中だより 速報

平成29年 6月21日  
東久留米市立 南中学校  
校長 川上 智

## 米国コロラド大学視察団 本校を訪問

コロラド大学アジア研究センターの「アジア学習プログラム」は、アメリカにおいて日本理解を一つの焦点にして各地のアメリカの教員に研修プログラムを提供しているそうです。この研修の一環として視察団が来日し、7月7日（金）に本校のオリンピック・パラリンピック教育を視察します。

### University of Colorado at Boulder

#### アジア研究センター アジア学習プログラム

今回の研修は2020東京オリンピック・パラリンピックに向けての機運醸成を活用して、アメリカの社会科教育の中に「日本学」や「日米関係学」の領域を広げることを目的として実施されるそうです。そこで、日本の学校ではオリンピック・パラリンピック教育がどのように行われているのかを視察したいとの依頼を受けました。

### 東京大学からの紹介

コロラド大学で本プログラムのまとめ役を務められている先生が、東京大学に相談したところ、本校がオリンピック・パラリンピック教育アワード校（幼・小・中・高・特別支援学校あわせて136校）で、その代表的な学校であると紹介され、東京大学を介して視察の依頼がありました。本校の「豊かな国際感覚の醸成」を中心とする取組に大変興味をもたれたとのことでした。

### コロラド州の中学・高校の教員など13名が来校

今回の視察は、本校の子供たちが直接関わる教育活動ではありませんが、初等中等教育を担う日米の教員が「学校教育」を通して交流することにより、ひいてはこの後、両国の未来を拓く子供たちの国際交流や国際貢献の推進に少しでも寄与する事ができればと思い視察をお引き受けしました。この思いはコロラド州の先生方とも共有をしたところです。

当日は、授業に支障がない範囲で、生徒会や部活動の子供たちに、学校や日本の文化などについて英語で紹介をさせたいとも考えています。

今後も、南中はグローバル化に確実に対応していきます。